

未来に向けて夢を持てる一年に



近江八幡市長
小西理

聞き手／近江八幡市広報番組「テレはち」
キャスター
片山むつみ



撮影場所：安土城天主 信長の館



2024年
市長新春トーク
小西理市長が昨年を振り返り、今年の展望を語ります。

はじめに、市民の皆さんに新年のごあいさつをお願いします。

市長 市民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。3年余り続いた新型コロナウイルス感染症は、本当に大きな影響を与えてきましたが、昨年5月に5類へ変更になり、皆さんの生活も、また地域の行事も徐々に戻ってきて普段の生活に近い形になってきました。しかし、原油高や為替高により、苦しい生活をされている方も非常に多いかと思えます。そのような中ではありますが、2024年は市民の皆さんと一緒に、「未来に向けて夢のある1年」にしていきたいと思えますので、よろしく申し上げます。

――まずは昨年の取り組みについてお話を聞きます。徐々に経済活動も活発になってきましたが、一方で、物価高騰もありました。これに対し、どのような施策を実施されましたか。

市長 さまざまなものに収入が追いついていかないことがあり、しっかりと下支えをしていかなければと考えました。特に、年金生活されている高齢者の方や収入を得るのが難しい方を支えるため「た

てしていただける、また、勉強に励んでいただける環境を整えさせていただきました。

――昨年5月に健康ふれあい公園でオープンしたスケートパークについて、お聞かせください。

市長 今までは、スケートボードを路上や駅前でされていることも多く、市民の方からも「場所を造ってほしい」という声がありました。また、実際に遊んでいる子どもたちからも、「しつかり練習できるスケート場が欲しい」という声も聞いていました。今回、健康ふれあい公園の調整池を活用できましたので、これはやるしかないなということで造らせていただきました。オリンピックでもとても人気がありますし、子どもたちが夢を持って練習し、オリンピック選手になることを目指してもらえればうれしいです。



スケートパークで楽しむ子どもたち

――市長は常々、子どもたちに本物の芸術音楽に触れてもらう機会を増やしたいといわれていますが、どのような事業を実施されましたか。

市長 小学生の4・5・6年生にそれぞれ舞台芸術やオーケストラなどに触れる機会や、ここ文芸セミナリヨにも壁面ア

「たすカルチケット」を発行させていただきました。他には、障がい者や高齢者の福祉施設、子どもたちが利用する施設を運営する事業者の方々は、困っている方々に届くように支えさせていただきます。

家計を応援する「たすカルチケット」

――子ども医療費無償化の助成対象を高校生世代まで拡大されましたね。

市長 若い世代の収入が非常に厳しい中で、医療費は家計に与える影響がとても大きいところです。従前より中学生まで医療費を無償化させていただいたのですが、今は高校まで行く人がほとんどです。その時に世帯の負担が増えることは、その人の暮らしに与える影響が非常に大きい。そこで、高校生世代までしっかりと計画的に、不安なく子育て



医療費受給券

トがあるのですが、学校でいろんなアーティストの方々に出張授業をしていただくとか、さまざま取り組みをさせていただきました。これからの時代、もの作りにも高付加価値を求めめるためには、美的センスを磨く必要があります。小学生に将来なりたい職業を聞いたところ、ユーチューバーになりたいという人がたくさんいました。音楽やアートのセンスがなければ、ユーチューバーにはなれないですし、これからさまざまな会社で働く場合でも、広告や広報宣伝はとても大事で、製品を作る場合でもデザイン性は大切になります。音楽・スポーツ・文化はこれからの成長のキーになると思うので、できるだけ子どもたちが触れられる機会を作れるよう、これからも進めていきます。

(4ページに続く)



子どもたちが手掛けた外壁アート「未来」



おむつの宅配を始めます



新庁舎のイメージ図



— 2021年7月に気候非常事態宣言を行い、ゼロカーボンシティを目指す中、さまざまな取り組みをされてきましたね
市長 西の湖も今、非常に水温が上がっていて「アオコの発生」という課題が出ており、身近に温暖化を感じる状況にあります。昨年は、公用車に電気自動車を導入させていただき、自己の家庭の電力をまかなうソーラーパネルや蓄電池などの設置に補助金を出させていただきました。また、新庁舎整備の契約をさせていただきました。「ゼブ」という今までの使用エネルギーを半分以下にするという仕様になっています。行政がいろいろな分野で、これからの地球や地域を考えた、環境に優しい取り組みを進める、その一歩を踏み出させていただいたと思います。



導入した電気自動車

— 2025年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、取り組みをお聞かせください。
市長 今、競技会場になる施設の整備を進めています。軟式野球、バレーボール、ハンドボール、トライアスロンの正式4種目のほか、綱引きや西の湖ウォーキングなど、さまざまなスポーツを実施させていただきます。これからの時代、スポーツは人と人とのコミュニケーションを考

学校でも司書を強化し、いろいろな教育の環境を整えていきたいと思えますし、新たなAツールや、生まれてから社会人になるまで、いろいろな段階で取り組んでいきます。今までは経済的な支援を中心に取り組んできましたが、これからは困り事を解決できるように、いろいろな人の相談に乗り、それに応えられるようにしていきたいと思っています。

— 高齢者に対する支援はどのようなものがありますか。
市長 私のテーマの中でも一番大きなものの一つです。少子高齢の中で、未来を支えていく基盤を作っていく必要がありますが、団塊の世代が後期高齢者になって待ったなしの状況です。一つは移動支援と医療支援、健康の部分です。認知症の人も増えている状況で難しいですが、一番大きなテーマだと思っています。また、買い物支援の実証実験を昨年始めさせていただきました。まちづくり協議会がそれぞれの移動支援をどういった形にするのか考え、それぞれの地域の特徴に合わせて実証実験を始めてもらいました。「あかこんバス」の土曜日運行もスタートさせたいと思っています。これは土曜日に皆さんが医者さんに通われたり、いろいろな所に行かれたりするための支援です。認知症の人が外に出て、地域の中でいろいろなコミュニケーションを取っていただくために、認知症カフェのように、さまざまな社会の中で高齢者の皆さん

観光資源の魅力向上を図ります



土曜日にも「あかこんバス」を運行します



観光資源の魅力向上を目的に、昨年3月に改定されました観光振興計画に基づいた事業についてお聞かせください。
市長 二つほどポイントがあり、一つはいろいろな観光資源を有機的につなぐことが、人が触れ合える機会も作ってほしいと思います。いろいろな課題がありますが、地域の中で不安なく暮らしていただけるものを作っていくかなくてはいいけません。今まで無医と言われていた武佐学区にも診療所を開設したいと考えていて、今動いています。喫緊の課題と言えるのでいろいろな手を打っていききたいと思っています。

— 令和6年の取り組みや展望をお聞きます。市庁舎整備について、お話しいただけますか。
市長 令和7年末に供用開始できるように、新しい時代にふさわしい庁舎にしていきたいと思います。併せて、まちづくりは人づくりであり、みんなで作り上げていくものが「まち」です。そういう意味で、庁舎本体もさることながら、市民病院跡地に計画している市民広場を、市民活動の中心になるような広場として作っていきたくと思っています。行政と市民の皆さんと一緒にやってそこに集まれるように、また、災害時にはここが一つの拠点となるようなものにしていきたいと思います。令和6年度にはいろいろな



人の「夢」をしっかりと形にできるように、進めていきたいと思います。

— 子育て支援について、今年はどういう取り組みがありますか。
市長 一つ大きなところでは、乳幼児の皆さんにオムツの宅配を始めます。単なる経済的支援にとどまらず、子育てをされる方や新たに子どもを出産された方の心の支えとして、おむつを届けるだけではなく、届けた際にいろいろなお話をできるような形で宅配ができればと思っています。また、配達するラッピングカラーも考えています。楽しいラッピングカラーになるように、みんなが「夢」を持てるようにしていきたいと思っています。

いくということ、周遊ルートを確立し、地図や案内板など実際に観光に来られた人に親切なまちになるように、一歩一歩進めていきたいと思います。二つ目は、地域の経済と一体になった活動です。今後、情報発信も含め取り組んでいくべき課題で、いろいろな方に頑張っていたり、民間でさまざまな資源の開発も進んでいきます。地域の活性化に結びつくような形で計画を作らせていただいたので、頑張っていきたいと思います。

— 最後に、市長ご自身の今年の抱負と市民の皆さんへメッセージをお願いします。
市長 冒頭でも申し上げましたが、「夢が持てる近江八幡市」を市民の皆さんと一緒に築いていきたいと思います。

それぞれの課題の解決がとても大切で、特に高齢者と地域のつながり、これからの地域をどのように活性化するか、また維持していくかという大きな課題があります。その中でさまざまな施策をちりばめながら、昨年に引き続き、今年もさらに飛躍できるように、大胆な施策に取り組んでまいりたいと思います。

市民の皆さんの知恵を結集していただき、力を合わせて頑張っていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひします。

※この特集記事は、ZTVで1月1日祝日6日出に放送する市広報番組「テレビはち」の内容を基に編集しています。

